

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 淡路こども園

公表日 2026年3月23日

利用児童数 43

回収数 21

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	1				今後は、空間の使い方をより一層工夫していきたいと考えています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	2		2		基準人員数は満たしていますが、個別対応が必要な場面やより丁寧な対応が求められる際には、保護者の方が安心できるよう今後さらにフォロー体制の充実を検討していきたいと思います。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	6		2	トイレや手洗い場が古い所があるので、子どもには使い辛いのではと思う。古い建物なので仕方がない。	建物の老朽化に対応するため、設備の全面的な改修工事を予定しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	2			古い建物なので仕方がない。	建物の老朽化に対応するため、設備の全面的な改修工事を予定しています。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21					今後、計画的な研修やケース討議、若手職員向けの日々の振り返りを通じて、職員一人ひとりの専門性の向上と子どもへの理解をより一層深めていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21					活動プログラムがマンネリ化しないよう、子どもの発達状況に応じて創意工夫を重ねていきたいと考えています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21					個々の子どもの特性や状態に合わせて、より細やかな支援につながるようアセスメントし個別支援計画を作成していきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1		1		保護者の方に納得していただき、必要な支援が具体的に伝わるよう努めていきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	1				個別支援計画に基づいた支援を行い、保護者の方と共通理解を図りながら支援していけるよう努めていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19			2		活動プログラムがマンネリ化しないよう、子どもの発達状況に応じて創意工夫を重ねていきたいと考えています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4		9	8		これまで毎年地域開放として実施していた「ふれあいまつり」は、コロナ禍をきっかけに規模を縮小して実施してきました。今後は地域開放の再開に向けて努めていきます。
保護者への	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21					ご不明な点がある場合は丁寧に説明します。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20			1		丁寧な説明を心がけていきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	2	1	2		家族支援として、定期的なグループ相談及びニーズに応じた個別相談、通園児保護者会と卒園児親の会が連携して行う講演会などを実施しています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19	2				より一層、保護者とのコミュニケーションを大切にして取り組んでいきたい。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21					今後も必要に応じて個別相談を設定し、十分な支援が行き届くよう、施設全体で努めていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	1			いつもありがとうございます。	一人ひとりの気持ちに寄り添い、安心して過ごせるよう共感的な支援を心がけていきます。

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	4	2	3	きょうだい向けはないと思う。	学齢期の利用児、及び「友の会」の方々を対象に、春の丹波遠足、夏の比良遠足、秋のいもほり遠足を実施しています。家族や、きょうだい同士の交流の場ともなっています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19			2		必要に応じて個別相談を設定し、十分な支援が行き届くよう、施設全体で努めていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21					十分な配慮が行き届くよう、今後もさらに努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17	1		3		今後は、SNSやICTを活用した情報共有にも努めていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	1				引き続き、写真を掲載する際は個別に確認を行い、個人情報や写真の取り扱いについても十分配慮していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	1		3		各マニュアルを自由に閲覧できる場所に設置しています。また毎月避難訓練を実施し、保護者と合同で実施する日を設けることで、保護者の安全意識が高まり、こどもたちがスムーズに避難できるよう努めていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21					引き続き、毎月避難訓練を実施し、保護者と合同で実施する日を設けることで、保護者の安全意識が高まり、こどもたちがスムーズに避難できるよう努めていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21					職員一人一人が安全計画についてしっかりと理解したうえで、保護者にも周知の徹底をはかっています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20			1		事故やけがが起きた際は、保護者へ速やかに連絡し、適切に対応していきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21					今後も子どもを中心とした支援を基本とし、保護者の声を大切にしながら、安心して過ごせる環境づくりと支援の質の向上に努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	1		1		子ども一人ひとりの発達状況に応じた関わりを基本とし、安心して楽しく過ごせるよう努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21				全体的に現場の先生を中心にしっかりやって下さっていると感じる。だが、アドバイス等になると、先を見据えたアドバイスなのかなと不安になることがある。すごく親身になって下さる方々の集まりで、安心して子どもを預けることができているので、すごくもったいないと感じます。	<ul style="list-style-type: none"> ご家族が相談する力を育み、様々な困難にも主体的に向き合えるよう支援することを目指しています。 個々に応じて、専門的な助言を通じて安心につなげるとともに、ご家族のもつ力を大切にしながら、伴走する支援を心がけています。